

V 行政分野

柱1 地域協働の推進【市民協働】

地域全体で将来の目標を共有し、協働で取り組むことにより、市民協働でのまちづくりが進められている

柱2 総合的な政策の推進と職員の人材育成【政策・人事】

実効性のある政策を立案し、限られた経営資源を選択・集中することで、市民の満足度が向上している

柱3 市民相談・窓口サービスの充実【市民生活】

市民が日常生活に困ることなく便利に暮らしている

柱4 男女共同参画社会の形成【男女共同参画】

男女が意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる男女共同参画社会が形成されている

柱5 計画的な行政経営の推進【行政経営】

限られた資源の選択と集中により、市民満足度の高い行財政運営が行われている

柱6 公平かつ適正な課税・収納【課税・収納】

市民は納税意識が高く、税負担が公平かつ適正であると感じている

柱7 適正かつ効率的な事務による開かれた行政【行政事務管理】

適正な事務管理及び資産の管理・運用により、市民は行政を信頼している

柱8 より開かれた適切な議会運営への支援【議会運営への支援】

より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている



江南市地域交流センター

V 行政
柱 1 地域協働の推進
— 市民協働 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

社会経済の成熟に伴い、人々の価値観は物の豊かさより心の豊かさ、生活の利便性に加え快適性、さらには個性を重視する方向に変化してきており、このような価値観が多様化する社会にあつては、地域課題や市民ニーズも多様化・複雑化しています。

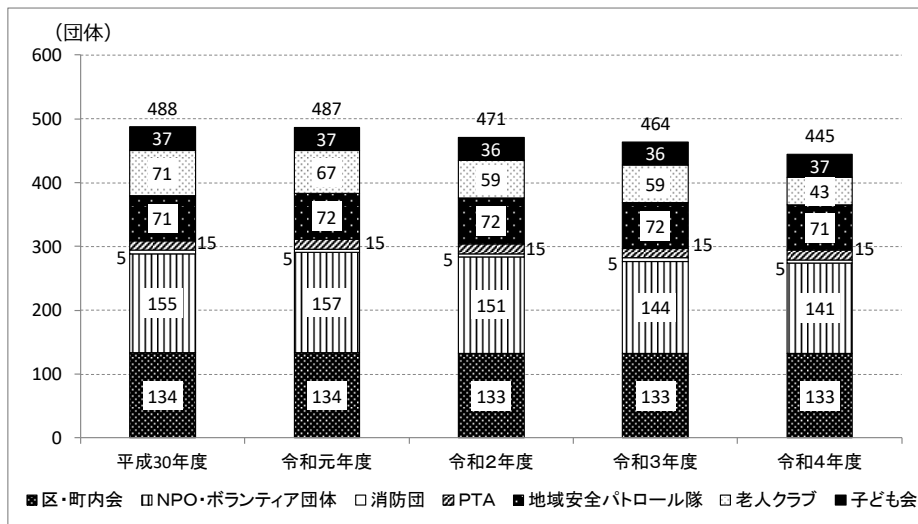
【江南市の現状・課題】

江南市においても、地域課題や市民ニーズが多様化・複雑化する中、行政の限られた資源だけでは持続可能な地域社会を構築することは困難であり、住民による自治をはじめ、多様な主体との協働、連携が不可欠となっています。一方、新型コロナウイルス感染症や高齢化の影響により、地域コミュニティ団体の活動機会は減少しており、まちづくりの担い手を支える仕組みが求められています。

【今後の方向性】

今後は、令和5年度にオープンした地域交流センターを拠点として、まちづくりの担い手である区・町内会、NPO※、ボランティア※など地域コミュニティ団体を支援し活性化を図るとともに、地域連携や官民連携※により、担い手が相互に協力し合い、地域の中で課題解決ができる仕組みを構築していく必要があります。

■地域コミュニティ団体数の推移



※R2～R4：新型コロナウイルス感染症の影響により活動機会減少

資料：地方創生推進課

目標年度（R9年度）のすがた

市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、行政などが、強固な信頼関係の下、市の将来像や目標を共有するとともに、それぞれの得意な分野で力を発揮し、連携・分担・協働により課題解決を図りながら、その実現に向けて協力し合っている。

その結果、地域課題や市民ニーズに対して、地域の様々な主体によってきめ細かく対応がされ、地域全体で地域の価値が高められている。

行政の使命

持続可能な地域社会を実現するため、地域交流センターを拠点として、市民をはじめ、NPO、ボランティアや企業、教育機関など多様な主体がまちづくりに関わる仕組みを構築する。
 自覚と責任をもった住民自治を確立するため、まちづくりの担い手となる人材の育成を支援する。
 審議会、住民説明会やパブリックコメント※など市民が自らの意思を表明する機会を充実させる。
 従来からある広報紙やホームページに、ソーシャルメディア※を加えた、様々な情報媒体のそれぞれの特徴を活かして、情報提供を行う。

成果目標

全体目標：地域全体で将来の目標を共有し、協働で取り組むことにより、市民協働でのまちづくりが進められている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
まちづくりの活動に参加している人の割合	%	33.2 (H29)	目標値	37.0	33.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	13.1	—	

個別目標①：市民が地域社会の担い手になっている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
地域コミュニティの団体数	団体	502 (H28)	目標値	586	495	地域協働の担い手となる地域コミュニティの団体数を測定するもの。 ※区・町内会、NPO・ボランティア団体、消防団、PTA、地域安全パトロール隊、老人クラブ、子ども会（市加入）
			実績値	445 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
地域協働の促進	まちづくりに関する情報の提供、人材育成、まちづくり組織間のコーディネートなどにより、まちづくりの担い手である市民などが参加しやすい環境づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動推進事業 地域団体支援事業 ふるさと寄附事業

個別目標②：市民と行政とが情報を共有し、市民と連携の取れた市政運営になっている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
ホームページのアクセス件数	件	806,248 (H28)	目標値	998,000	1,854,000	市民がホームページから情報を得ているかを測定するもの。
			実績値	1,834,938 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
地域情報の発信・収集	市民生活に必要な情報などを効果的に速やかに、かつ正確に提供するとともに、市民の意向を十分に市政に反映させる。	<ul style="list-style-type: none"> 広報事業 広聴事業

市民協働のモデル

市民協働事業

●市民活動推進事業

- ・道路、公園などの清掃美化をボランティア※が担う制度（アダプト※制度）を導入しています。
- ・地域交流センターにおいて、地域の様々な主体が関わり合う仕組みづくりや、相談など活動の支援を行います。

●地域団体支援事業

- ・広報こうなん、回覧文書などの配布を、区・町内会と協働して実施しています。

市民協働の推進に向けて

●地域コミュニティの維持・活性化

- ・先進事例を参考に、地域コミュニティの維持・活性化に向けた取り組みを行います。

●NPO・ボランティア団体、自治会などの支援

- ・地域交流センターを拠点として、NPO※・ボランティア団体などの支援を行います。



こうなん美化ボランティアの活動

V 行政
柱 2

総合的な政策の推進と職員の人材育成
— 政策・人事 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

人々のライフスタイルや価値観が多様化する中、地域課題も地方自治体ごとに多様化しており、各自治体は自らの創意工夫により政策を立案し対応していくことが求められています。

また、国はSDGsを原動力とした地方創生[※]や、デジタルの力を活用した地方の社会課題解決の加速化を促し、地方創生の取り組みのいっそうの充実・深化につなげるため、地方創生SDGsの推進や、デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定などにより、SDGsを通じた官民連携[※]の促進や行政のDX（デジタル・トランスフォーメーション）[※]を強く推進しています。

【江南市の現状・課題】

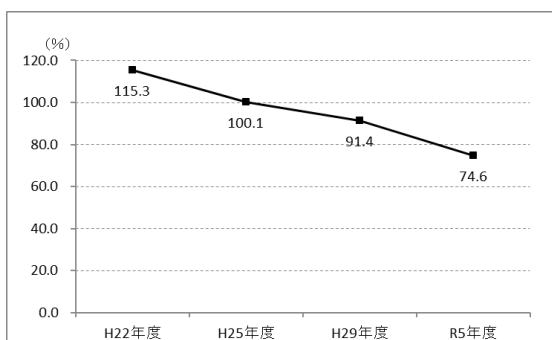
江南市においても、限られた経営資源の中で、複雑化・多様化・専門化する市民の行政へのニーズに迅速かつ的確に対応するため、PDCAサイクル[※]による事業の見直し、市職員の人材育成などに加え、DXの推進による事務の効率化や市民サービスの向上がよりいっそう重要となっています。

【今後の方向性】

今後は、SDGsを通じたパートナーシップの強化によりさらなる官民連携を推進し、多様なステークホルダー[※]と連携した共創のまちづくりを進めるとともに、DXの推進を図るため、国が進める自治体システムの標準化や行政手続きのオンライン化を確実に進め、デジタル技術の活用を広く展開し、市民にとってより利便性の高いデジタル・スマート市役所[※]を実現していくことが求められています。

また、これらの政策形成やマネジメントのために、職員が自らの資質向上を図り、能力を最大限に発揮できるよう、職員の効果的な人材育成を進めていくことが求められています。

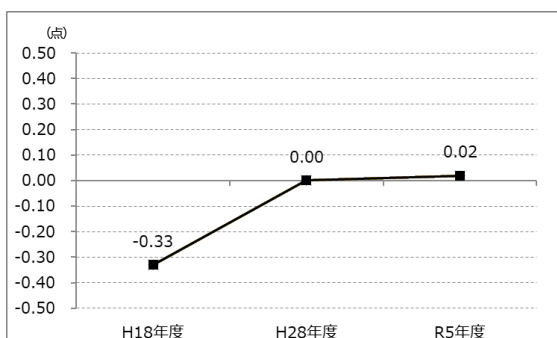
■総合計画に掲げられた全体目標の平均達成率の推移



※H22年度、H25年度、H29年度：江南市戦略計画
R5年度：第6次江南市総合計画

資料：秘書政策課

■市民意向調査における満足度の平均値の推移



※行政の各施策に対する市民満足度を点数化した値の平均値
(最高：2.00点、最低：-2.00点)

資料：秘書政策課

目標年度（R9年度）のすがた

行政の各組織が明確な目標をもち、市の将来を見据えた実効性のある総合的な政策を推進し、市の政策課題に対応している。また、行政の施策を実施する一人ひとりの職員が高い意識をもち、市民ニーズに的確に対応している。
その結果、限られた経営資源の中で最大の成果が実現され、市民の満足度が向上している。

行政の使命

中長期的な視点に立った政策を立案し、市の政策課題に迅速に対応することで、市民満足度を向上させる。
経営能力とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成するとともに、職員一人ひとりが職務に専念できる風通しの良い職場環境づくりを行うことで、市民サービスの質を向上させる。

成果目標

全体目標：実効性のある政策を立案し、限られた経営資源を選択・集中することで、市民の満足度が向上している

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
基本計画に掲げられた全体目標の平均達成率	%	—	目標値	100.0	100.0	第6次江南市総合計画の基本計画に掲げられた全体目標がどの程度達成されたかを測定するもの。
			実績値	74.6	—	
市民意向（満足度）調査での市民満足度の平均値	点	0.00 (H28)	目標値	0.10	0.30	行政の各施策に対する市民意向（満足度）を市民満足度の平均値で測定するもの。 (最高：2.00点、最低：-2.00点) 市民満足度調査により測定。
			実績値	0.02	—	

個別目標①：職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力をもった職員が育っている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
政策形成とマネジメント能力をもった職員を育てる研修などを受講し、有益と感じる職員の割合	%	93.8 (H28)	目標値	95.0	97.0	政策形成とマネジメント能力をもった職員を育てる研修などを受講後、職務や自己研鑽に活かしているかを、事後アンケート調査で測定するもの。 職務や自己研鑽に活かしている職員数/受講職員数
			実績値	93.5 (R4)	—	
現在の職務に適正があると人事評価された職員の割合	%	95.1 (H28)	目標値	99.0	100.0	職員のもつ能力を職務に活かすため、適材適所の人事異動がなされているかを人事評価で測定するもの。
			実績値	97.6 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
職員の人材育成と適正な人事管理	職員がより高度な職務に対応でき、組織として成果達成に向けて、事務を適切かつ効率的に実施するため、職員研修の充実を図るとともに、人事及び人員管理を行う。	・人材育成事業 ・人事管理事業

個別目標②：限られた経営資源で政策を実現し、市民ニーズに応じている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
基本計画に掲げられた個別目標の平均達成率	%	—	目標値	100.0	100.0	第6次江南市総合計画の基本計画に掲げられた個別目標がどの程度達成されたかを測定するもの。
			実績値	95.9 (R4)	—	
政策会議に付議した案件数	件	33 (H28)	目標値	↗	↗	幹部会議（政策会議）で審議し、実効性のある政策立案を行うことで、市の懸案事項、特命事項に対応したかを測定するもの。
			実績値	59 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
中長期的な政策立案の推進	豊かな地域社会の将来を築くため、総合的な施策の企画、立案、調整などを行う。	・政策決定支援事業

個別目標③：デジタル技術の活用により、効率的な行政運営、充実した市民サービスの提供ができています

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
デジタル技術（情報システム等）を活用した市民サービスの向上が十分に実施されていると感じる市民の割合	%	16.5 (R5)	目標値	—	22.0	デジタル技術の活用により、市民サービスの向上が図られているかを測定するもの。市民満足度調査により測定。
			実績値	—	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
D X [*] の推進	デジタル技術の積極的な活用による、市民サービスの向上及び行政事務の効率化を進めるため、情報システムの管理運営及びD X（デジタル・トランスフォーメーション）の推進を行う。	・情報システム管理運営事業 ・情報システム標準化事業

市民協働のモデル

市民協働事業

- 政策決定支援事業
 - ・市民・団体・企業が参加し、協働により総合計画の見直しや進捗管理を行っています。
- 人材育成事業
 - ・窓口の接遇に関するアンケートを実施しています。

関連する個別計画

- 江南市人口ビジョン（H27～R42）
- 江南市人材育成基本方針
- 江南市等特定事業主行動計画「第2次改訂計画」（R2～R7）
- 江南市DX推進指針（R3～）

V 行政
柱 3

市民相談・窓口サービスの充実
— 市民生活 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

多種多様な手続きを受け付ける窓口では、それぞれの手続きにおいて適正かつ円滑な対応が求められます。また、デジタル化が進展する社会において、従来の行政手続き方法に負担を感じる方が多く、見直しが求められています。

また、消費生活においては、高齢者を中心とした消費者トラブルが依然として多く、成年年齢の引き下げに伴う新たなトラブルの増加も懸念されています。日常生活において住民が抱える多様な問題の解決に対応するため、行政サービスとして専門家に気軽に相談できる体制を確保することが重要となっています。

【江南市の現状・課題】

江南市においては、コンビニ交付やスマート申請[※]を一部の手続きで導入しましたが、依然として多くの方が手続きのために来庁されるため、繁忙期などにおいて、市民が長時間待たされることがあります。手続きごとに異なる申請書が多くあることで、市民が困惑し、窓口が混雑する要因の1つとなっています。

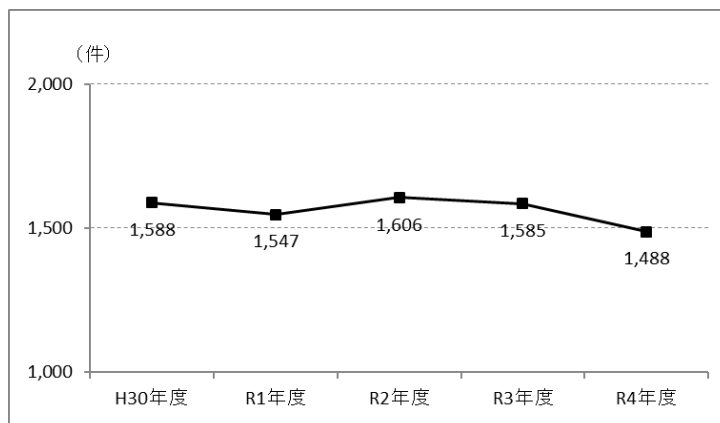
また、生活の多様化やインターネットの普及による新しい形の消費者トラブルの発生など、市民生活に関わる相談件数は依然として多く、気軽に相談できる窓口体制の確保が重要となっています。

【今後の方向性】

今後は、電子申請などを活用した手続きの拡充により、「行かなくて済む市役所」、「書かない窓口」の実現が求められます。特に、多くの市民が保有するマイナンバーカードを活用した円滑な窓口サービスの提供が期待されています。

また、相談窓口においては、相談者の個々の状況に合った具体的な解決法を示すため、弁護士などの専門家に気軽に相談できる窓口の充実や相談員の継続的なレベルアップが必要です。

■市民相談件数の推移



※税務相談は平成28年度終了
不動産コンサルタント相談は令和3年度終了

資料：市民サービス課

目標年度（R9年度）のすがた

適切で円滑な窓口サービスが提供されるとともに、専門的な知識をもった相談員による相談が気軽に受けられている。

その結果、市民は、自立した生活を安心して過ごすことができている。

行政の使命

様々な市民相談に対して適切に対応するとともに、弁護士などの専門家による、問題解決に向けた相談体制を充実させ、市民の日常生活の安心を確保する。また、市民相談をはじめとした窓口サービスを迅速かつ的確に提供する。

成果目標

全体目標：市民が日常生活に困ることなく便利に暮らしている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R 5	R 9		
迅速かつ適切に行政サービスを受けていると感じる市民の割合	%	22.1 (H28)	目標値	29.0	36.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	24.6	—	

個別目標①：戸籍などが正確に記録・管理され、市民は窓口サービスを迅速に受けている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R 5	R 9		
正確で早くて便利な窓口サービスを受けていると感じる市民の割合	%	94.4 (H28)	目標値	95.0	96.0	窓口利用者アンケート調査により測定。
			実績値	92.4 (R4)	—	
マイナンバーカード保有枚数率	%	71.7 (R5)	目標値	—	90.0	市民のマイナンバーカードの保有状況を測定するもの。
			実績値	—	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
窓口サービスの向上	戸籍の届出や住民異動届の内容を正確に登録し、戸籍の事項証明や住民票などの各種証明書を交付する。また、市民の申請によりマイナンバーカードを交付する。	<ul style="list-style-type: none"> ・戸籍事業 ・住民基本台帳等事業 ・印鑑登録事業

個別目標②：専門家による相談を受け、市民が安心して暮らしている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R 5	R 9		
消費生活講座※の受講者数	人	491 (H28)	目標値	500	650	消費生活講座を受け、知識を得ている状況を測定するもの。
			実績値	437 (R4)	—	
消費生活相談の件数	件	119 (H28)	目標値	300	600	消費生活に関する悩みごとを解消するため、相談を受けた状況を測定するもの。
			実績値	552 (R4)	—	
弁護士などの専門家による相談の件数	件	644 (H28)	目標値	660	600	様々な悩みごとを解消するため、弁護士などの専門家による相談を受けた状況を測定するもの。
			実績値	562 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
市民生活相談の充実・知識の向上	消費生活におけるトラブルを早期に解決するため、専門家による相談を実施する。また、消費生活に関する知識向上のための啓発を実施する。個人的な悩みごとやトラブルを早期に解決するため、専門家等による相談を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活事業 ・消費生活センター事業 ・市民相談事業

V 行政 柱4 男女共同参画社会の形成 — 男女共同参画 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

国連サミットにて採択されたSDGsのゴールの1つとして「ジェンダー^{*}平等の実現」が掲げられ、国内においては、労働者が育児や介護を容易にするために仕事と家庭の両立に寄与する法改正などが進められました。しかしながら、世界経済フォーラムが発表しているジェンダーギャップ指数^{*}では、日本は146か国中125位（2023年）で、特に「経済」、「政治」分野における順位が低い順位となっています。組織の幹部層への女性の登用が十分でないことや固定的性別役割分担意識が依然として残るなど、女性を取り巻く問題は未だ多くあります。

また、性的少数者への理解が深まり多様性を尊重される社会において、性別・性自認に関わらず誰もが活躍できる社会づくりが求められています。

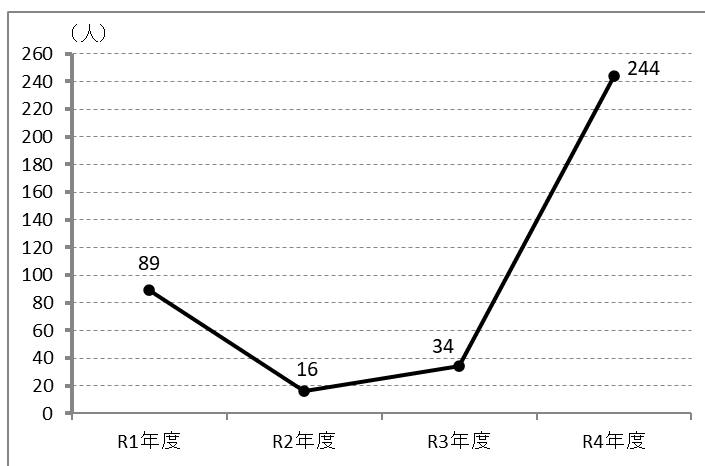
【江南市の現状・課題】

江南市においては、令和3年度に「第3次こうなん男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けた啓発や男性の育児・家事を促進する取り組みも進められています。また、女性の就業率も上昇しており、女性の社会参加が促進されていることが伺えます。しかしながら、市職員の課長職以上に占める女性比率や市議会議員の女性比率が県平均より低く、政策・方針決定過程への女性の参画が低い状況となっています。

【今後の方向性】

今後は、男性の家庭参加の促進による女性のさらなる社会進出を促すとともに、民間企業も含めた女性管理職比率向上の促進を図ることにより、女性が政策・方針決定過程へ参画できる環境の醸成が求められています。また、多様な性への理解と共感が広がり、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現も期待されています。

■男女共同参画事業の参加者数の推移



※ R1～3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により一部中止の事業あり
資料：市民サービス課

目標年度（R9年度）のすがた

男女共同参画が広く浸透するように、様々なメディアを活用した啓発活動や講座・イベントが開催され、市民に男女共同参画の理念が浸透している。
その結果、男女が互いを尊重し合う気持ちが育まれる環境が整った社会が形成されている。

行政の使命

「江南市男女共同参画都市宣言」の理念の下、市民、地域、事業者、行政との協働により、男女共同参画社会の形成の促進のため、講座や啓発活動などを継続的に実施する。

成果目標

全体目標：男女が意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる男女共同参画社会が形成されている

指標名	単位	基準値	計画値	計画値		説明
				R5	R9	
男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野（家庭、地域、職場）で活躍できていると感じる市民の割合	%	31.4 (H29)	目標値	35.0	40.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	21.3	—	

個別目標①：男女共同参画の理念が広く浸透し、男女が社会参画において対等なパートナーとして、ともにその責任を分かち合っている

指標名	単位	基準値	計画値	計画値		説明
				R5	R9	
男女共同参画に関するセミナー等への参加割合	%	93.9 (H28)	目標値	95.0	95.0	男女共同参画に対する理解を深めようとする市民の状況を測定するもの。 参加人数/募集人数
			実績値	55.6 (R4)	—	
審議会等における女性委員の登用率	%	22.4 (H28)	目標値	35.0	37.0	男女共同参画の視点を市の施策の各分野に反映させるための女性参画の拡大を測定するもの。
			実績値	28.2	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
男女共同参画社会の形成	男女共同参画を推進するため、啓発活動及び学習活動を推進する。	・男女共同参画推進事業

市民協働のモデル

市民協働事業

●男女共同参画推進事業

- ・市民と協働し、江南市男女共同参画市民フェスタを開催しています。

関連する個別計画

- 第3次こうなん男女共同参画プラン（R4～R13）



V 行政 柱5 計画的な行政経営の推進 — 行政経営 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

少子高齢化や本格的な人口減少社会の到来に加え、高度経済成長期に集中的に整備された社会資本が一斉に更新時期を迎える中、多くの自治体で持続可能な財政基盤の確保が課題となっています。

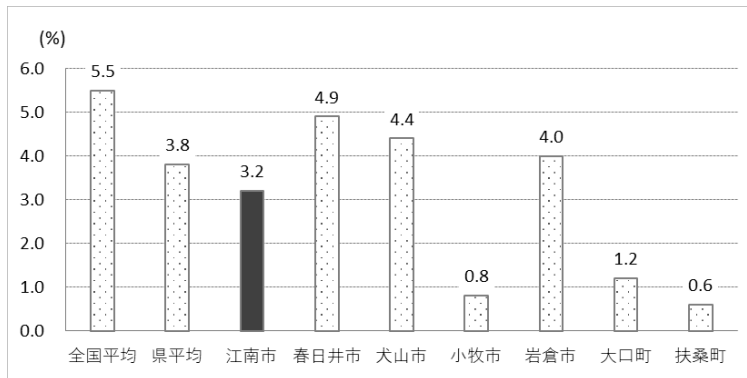
【江南市の現状・課題】

江南市においても、公共施設を含めた都市インフラの老朽化への対応や、市民ニーズの多様化により財政需要は高まっています。さらに、少子高齢化による生産年齢人口の減少は、基幹的収入である市税収入の減少をもたらし、老年人口の増加は社会保障費[※]の増大につながることから、今後も厳しい財政運営を迫られることが見込まれます。経費削減と市民サービスの質の向上の両方を満たすために、さらなる行政改革や公共施設マネジメントの推進を図り、効率的・効果的な業務へ見直していくことが現在の課題となっています。

【今後の方向性】

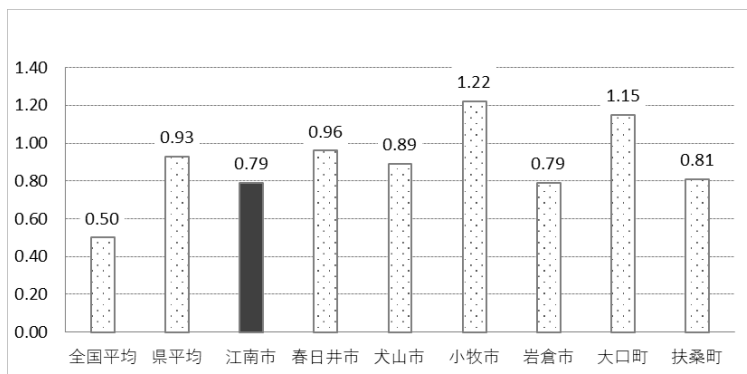
今後は、行政改革の推進に取り組むことにより、限られた資源の中で市民満足度の高い行政運営を推進することが期待されるとともに、公共施設の運営に際しては、指定管理者制度の範囲拡大や民間施設への代替、包括的民間委託など、PPP/PFI[※]のさらなる推進を図ることによるコストの削減が求められています。

■実質公債費比率[※]（R1～3の3か年平均）の比較



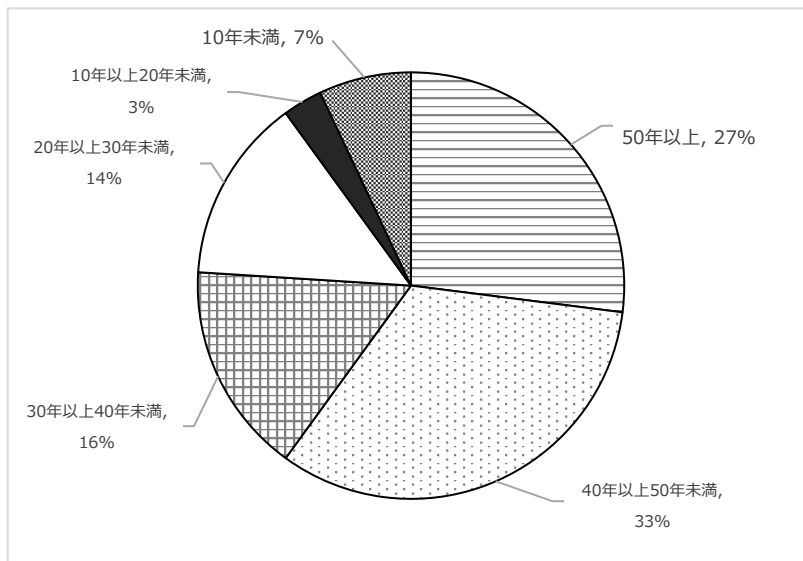
資料：財政課

■財政力指数[※]（R1～3の3か年平均）の比較



資料：財政課

■公共建築物の経過年数別保有量



資料：財政課

目標年度（R9年度）のすがた

継続的に行政改革を実施するとともに、限られた経営資源を活用した行政運営を行っている。その結果、持続可能な財政基盤が確保された中、最少の経費で最大の成果が実現され、市民が行政を信頼している。

行政の使命

次世代へとつなげる将来を見据え、限られた経営資源を有効に活用し、効率的かつ透明性の高い財政運営を行う。
行財政運営における課題を的確に捉え、実行性のある行政改革に取り組むことで経費削減や市民サービスの質の向上を図る。

成果目標

全体目標：限られた資源の選択と集中により、市民満足度の高い行財政運営が行われている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
効率的な行財政運営を行っていると感じている市民の割合	%	13.6 (H29)	目標値	19.0	23.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	9.1	—	

個別目標①：計画的で健全な行財政運営が行われている

指標名	単位	基準値	計画値		説明
			R5	R9	
行政改革大綱の進捗状況	%	50.0 (R5)	目標値	— 93.8	江南市第九次行政改革大綱に掲げた取り組みのうち目標が達成されたかどうかを測定するもの。
経常収支比率※ (単年度)	%	88.2 (H28)	目標値	85.0 85.0	市税などの経常的に収入される一般財源に対して、経常的な経費に充てた一般財源の割合を表す指標。この割合が高いほど財政構造に弾力性を失いつつある状態で、75%程度が適当であるといわれている。
			実績値	85.3 (R4) —	
実質公債費比率※ (前3年度平均)	%	4.3 (H28)	目標値	5.8 5.0	財政の健全化を判断する指標の1つで、標準的な規模の収入に対して、借入金の返済額とこれに準ずるもの（公営企業債返済の繰出金など）を加えた実質的な公債費の割合を表す。18%以上で地方債の許可の制限を受ける。
			実績値	3.1 (R4) —	
財政力指数※ (単年度)	—	0.82 (H29)	目標値	0.83 0.80	地方自治体の財政力を示す指数で、標準的な行政運営に必要な一般財源を、市税などの収入でどの程度まかなえるかを表す。この指数が高いほど、財源に余裕があるといえる。なお、1を超える団体は、普通交付税の交付を受けない。
			実績値	0.74 (R4) —	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
計画的で健全な行財政運営の推進	効率的で市民満足度の高い行政経営を行うため、市民サービスの質の向上や経費削減、歳入の確保に努める行政改革を推進する。また、将来にわたり持続可能な財政の健全性を維持するため、社会経済情勢や市民ニーズの変化を的確に把握し、歳入と歳出のバランスのとれた財政運営を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 行政改革推進事業 予算編成事業 起債事業

個別目標②：公共施設の最適な利用及び配置が図られている

指標名	単位	基準値	計画値		説明
			R5	R9	
公共建築物の更新費用の財源不足額が解消された割合	%	0.7 (H28)	目標値	↗ ↗	施設の配置適正化などを図ることにより、財政負担を軽減できているかを測定するもの。縮減された更新費用など/財源不足額
実績値	3.68 —				

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
公共施設の最適な利用及び配置	公共施設を次世代に適切に引き継いでいくため、総合的かつ計画的な維持管理、更新などの基本的な方針を定めるとともに、地域のまちづくりの観点から市民と一緒に検討し、施設の利用及び配置の適正化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設マネジメント推進事業 公共施設整備事業基金管理事業

市民協働のモデル

市民協働事業

●行政改革推進事業

・市民・団体・議員が参加し、協働で行政改革大綱の策定及び進捗状況について審議しています。

●予算編成事業、決算関係事業

・予算や決算などに関する財政情報を広く市民に提供しています。

関連する個別計画

- 江南市第九次行政改革大綱（R5～R9）
- 江南市公共施設等総合管理計画（H28～R37）
- 江南市公共施設再配置計画（H30～R37）



古北にじいる会館



江南市民文化会館



すいとびあ江南

V 行政
柱 6

公平かつ適正な課税・収納

— 課税・収納 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

少子高齢化と人口減少により、納税者の減少が見込まれる中、行政は社会保障の安定財源を確保するとともに、地域の経済成長や雇用確保にも応えていかなければなりません。

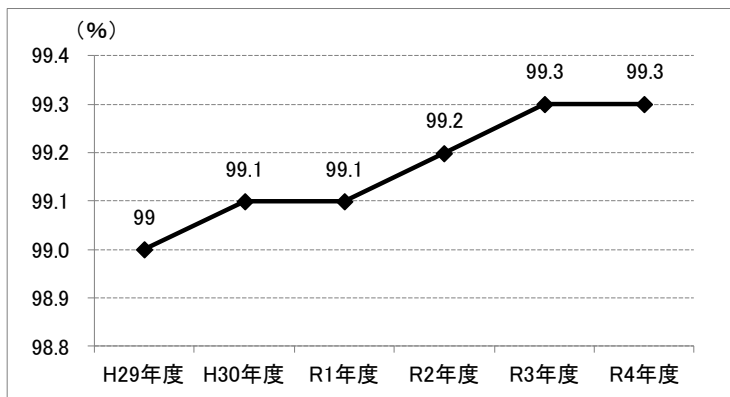
【江南市の現状・課題】

江南市においても、少子高齢化と人口減少により、税収の減少が見込まれる一方で、高齢者や子育て世代に対する支援など社会保障費[※]は増加傾向にあり、税収の確保がますます重要なものとなっています。

【今後の方向性】

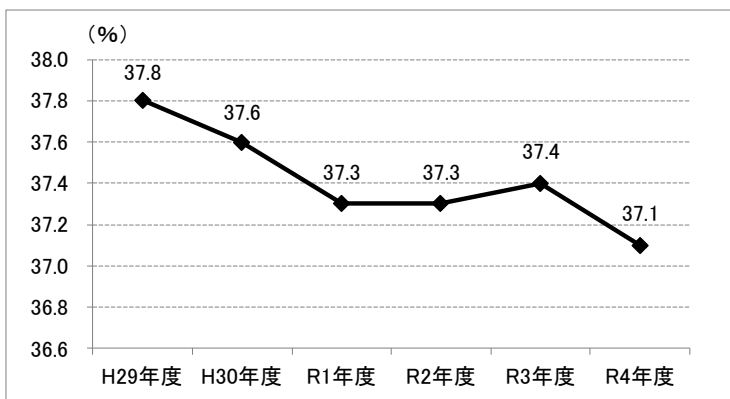
今後は、課税客体[※]の正確な把握や不均一課税などによる税収確保に努め、公平かつ適正な課税を行うことが求められています。また、e L T A X[※]を活用した各種税申告や、口座振替・コンビニ収納・スマートフォン決済アプリを活用した支払いなど利便性の高い納税手段の利用促進を図り、納税に伴う市民の負担軽減を図るとともに、滞納に対する収納の強化などにより、公平性が確保された適正な収納管理が求められています。

■ 収納率の推移



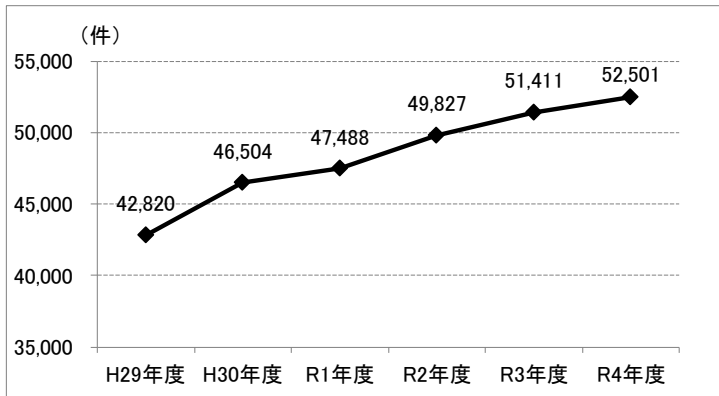
資料：収納課

■ 口座振替加入率の推移



資料：収納課

■コンビニ収納件数の推移



資料：収納課

目標年度（R9年度）のすがた

税の目的や仕組みがわかりやすく説明され、公平かつ適正な課税・収納が行われている。また、納税者に対して様々な納税手段・機会が用意されている。

その結果、市民の納税意識が高まり、税負担に対して公平かつ適正であると感じ、ニーズに合った納税方法が選べる環境の中、納税の義務を果たしている。

行政の使命

高度な専門知識や実務に精通した職員を育成し、公平かつ適正な課税・収納事務を行う。

また、納税手段・機会の拡大や納税相談を充実させるとともに、財産調査の効率化を図り、滞納に対する収納を強化することで、収納率の向上を図る。

成果目標

全体目標：市民は納税意識が高く、税負担が公平かつ適正であると感じている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
税が公平かつ適正に課税・収納されていると感じている市民の割合	%	10.0 (H28)	目標値	20.0	30.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	10.1	—	

個別目標①：市民は、公平かつ適正に課税されていると感じている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
課税誤りによる更正・決定の件数	件	6 (H28)	目標値	↓	↓	適正に課税されているかを、課税誤りの更正減の件数で測定するもの。
			実績値	5 (R4)	—	
未申告者などに対する更正・決定の件数	件	201 (H28)	目標値	220	240	公平に課税されているかを、税務調査による更正増の件数で測定するもの。
			実績値	144 (R4)	—	

●行政の取り組み

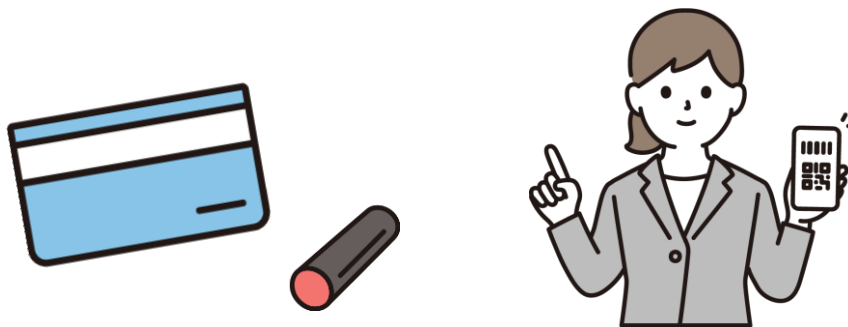
基本施策	施策内容	主な事務事業
公平かつ適正な課税	市民に対し税制をわかりやすく広報・周知するとともに、課税客体※の的確な把握に努め、公平かつ適正な課税を行う。また、課税に関する各種証明書の発行を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人賦課事業 ・償却資産賦課事業

個別目標②：公平かつ適正な税負担を感じ、自主的に納税を行っている

指標名	単位	基準値	計画値		説明
			R5	R9	
収納率 (市税現年度課税分)	%	98.9 (H28)	目標値	↗	市税収納額/市税調定額
			実績値	99.3 (R4)	
口座振替加入率	%	37.9 (H28)	目標値	38.0	口座振替加入者数/納税者数
			実績値	37.1 (R4)	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
市税等収納管理の充実	納税の公平性と確実な税収を確保するため、納税手段・機会の拡大を図るとともに、適正な収納処理及び滞納に対する収納を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・納税推進事業 ・滞納処分事業



V 行政
柱 7

適正かつ効率的な事務による開かれた行政
— 行政事務管理 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

地方分権改革により、条例などの制定や改正など、地方公共団体の法務事務は増加する中、市民に対して開かれた透明性の高い行政が求められています。

また、自治体は土地・家屋などの財産を保有していますが、それらを適切に管理・活用していくことの重要性も高まっています。

【江南市の現状・課題】

江南市においても、複雑化する法務事務、文書事務への対応や情報公開に対する公文書などの適正な管理がよりいっそう重要となっています。

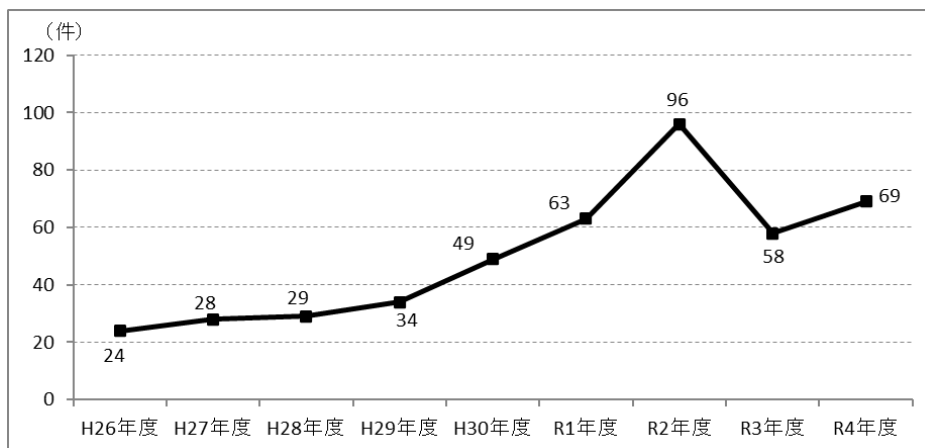
さらに、市が保有する財産については、地域や社会のニーズ及び市の財政状況を勘案し、有効な活用方法の検討が必要な状況です。

【今後の方向性】

今後は、政策法務などに関する専門知識をもった職員の育成、行政の透明性を高める情報公開に継続して取り組むとともに、公平かつ適正な事務を確実に執行することが求められています。

また、市が保有する財産の活用方法については、市民の意見を十分に踏まえ、効率的運用を図ることが求められています。

■ 情報公開開示請求件数



資料：総務課

目標年度（R9年度）のすがた

個人情報保護の下、情報公開制度[※]が適正に行われ、行政の透明性が確保されている。その結果、市民は行政を信頼し、市政に対する市民の関心もいっそう高まっている。

行政の使命

行政の透明性の確保と説明責任の遂行のため、情報公開を適正に行うとともに、個人情報保護の徹底を図る。また、市政への関心を高めるため選挙啓発を行う。

金融情勢の変化を的確に把握し、公金[※]の安全かつ有利な運用を図るとともに、適正な出納審査を行う。

監査を継続的に実施することにより、行政運営が適正に執行されていることを担保する。

成果目標

全体目標：適正な事務管理及び資産の管理・運用により、市民は行政を信頼している

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
行政の事務が、適正かつ効率的に行われていると感じる市民の割合	%	25.7 (H29)	目標値	30.0	35.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	26.8	—	

個別目標①：確実な個人情報保護と、情報公開が適正に実施され、透明性の高い行政が行われている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
情報公開制度※に基づく審査請求件数	件	0 (H28)	目標値	0	0	情報の公開を円滑に進めていることを測定するもの。
			実績値	2 (R4)	—	
個人情報の漏洩件数	件	0 (H28)	目標値	0	0	個人情報安全に守られているかを測定するもの。
			実績値	0 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
適正な事務管理	行政の透明性を確保するため、情報公開制度の普及と適正な事務を行うとともに、個人情報保護の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 情報公開事業 個人情報保護事業

個別目標②：資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
普通財産※に占める未利用地の割合	%	6.1 (H28)	目標値	↓	↓	資産が有効に活用されているかを測定するもの。 未利用地面積/普通財産面積
			実績値	23.7	—	
歳計現金の有利子運用の割合	%	6.1 (H28)	目標値	↑	↑	歳計現金（市の歳入・歳出に属する現金）が安全かつ有利に運用されているかを測定するもの。 国債等の有利子運用額/6月末の歳計現金総額
			実績値	8.7	—	
庁舎施設の老朽化及び物品等の劣化に起因する不具合の件数	件	0 (R2)	目標値	0	0	庁舎施設、物品等が適正に管理されているかを測定するもの。
			実績値	0	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
資産の適正な管理運用	普通財産を有効に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> 市有財産管理事業



個別目標③：各種行政委員会の事務が適正に行われ、市民の信頼が得られている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R 5	R 9		
市長・市議会議員選挙投票率	%	53.6 (H27)	目標値	57.0	60.0	市政に関する市民の関心の高さを選挙投票率で測定するもの。
			実績値	46.7	—	
決算審査 [※] における意見等指摘件数	件	8 (H28)	目標値	↘	↘	予算執行が適正に行われているかを監査委員の指摘件数により測定するもの。
			実績値	7	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
行政委員会 [※] の適正な運営	選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会等、各種行政委員会の運営を適正に行う。	<ul style="list-style-type: none"> 選挙管理委員会事業 公平委員会事業 固定資産評価審査委員会事業



市役所庁舎

V 行政
柱 8

より開かれた適切な議会運営への支援
— 議会運営への支援 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

地方分権改革の進展により、地方公共団体の自主性・自立性の確保が強く求められています。二元代表制^{*}の下、地方議会の機能強化が求められる中、議会の果たすべき役割もこれまで以上に重要となってきています。

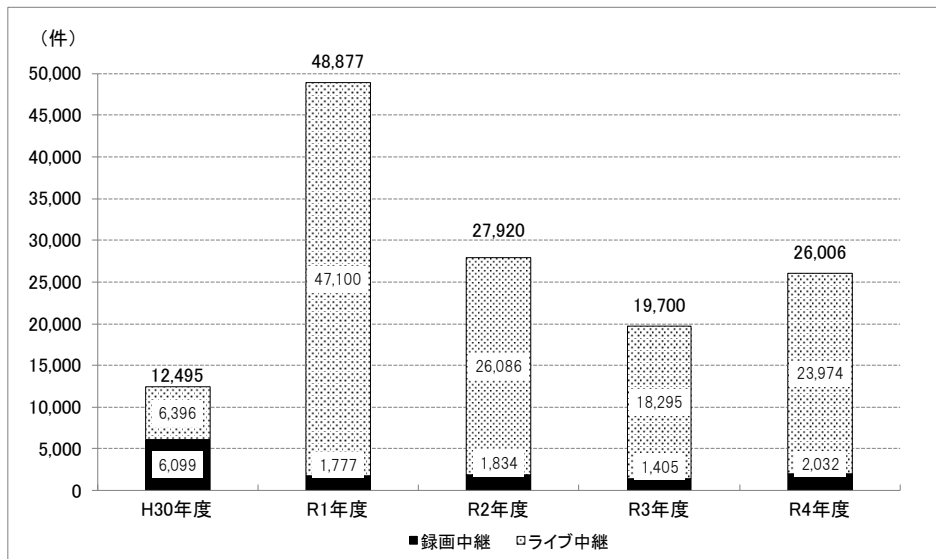
【江南市の現状・課題】

江南市議会では、江南市議会基本条例に基づき、議会の機能強化、議会運営の改善などを図るとともに、令和5年の選挙からは議員定数を2削減するなど、定数の最適化にも取り組んできました。また、SNS^{*}を活用した情報発信、本会議のライブ中継、市民と議会との意見交換会など市民に開かれた議会運営に努めてきました。他方で、限られた経営資源の中で、多様化する地域課題・市民ニーズに対して、最高意思決定機関として適切な判断を下していくためには、さらなる機能強化が必要な状況です。

【今後の方向性】

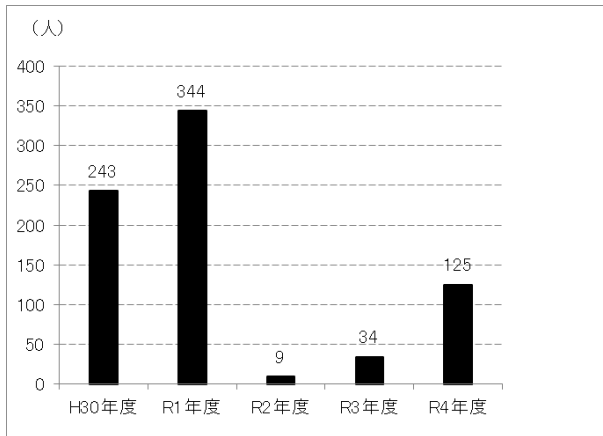
今後、議会は執行機関の監視機能や政策立案機能をいっそう充実・強化するとともに、より市民にわかりやすい開かれた議会運営が求められています。このような議会に対する要請に的確に対応するため、議会活動を支える職員の資質の向上や情報発信手段の創意工夫を進めるなど、議会事務局のさらなる支援体制の充実が必要となっています。

■議会映像中継アクセス件数



資料：議事課

■議会（本会議）の傍聴者数



資料：議事課

※R2～R4：新型コロナウイルス感染症の影響により傍聴者減少

目標年度（R9年度）のすがた

議会事務局は、的確な議会運営への支援を行い、議会は議事機関としての機能を適切に果たし、市民にわかりやすい開かれた活力ある議会運営を行っている。
 その結果、市民は、議会の審議などにより、市の施策、事業の経過や進捗状況を把握でき、市政に関心をもっている。

行政の使命

議事機関としての議会の機能が適切に果たされるよう、議会や議員活動を支援する。
 研修や近隣自治体との情報交換を密にし、議会事務局職員の専門性を高め、議会からの要請などに、よりの確に対応できる支援体制の充実を図る。
 積極的に市民へ議会情報などを提供することなどにより、市民にわかりやすい開かれた議会運営への支援をする。

成果目標

全体目標：より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

指標名	単位	基準値	計画値		説明
			R5	R9	
議会のように、広報やホームページなどにより、広く情報発信されていると感じる市民の割合	%	49.0 (H29)	目標値	57.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	30.9	